電波新聞
2023年(令和5年)7月31日(月曜日)

電波新聞

高速伝送対応コネクター

5G／6G向け開発強化

ケル　COMNEXTで多彩な展示

ケルは、次世代の高速伝送要求に対応するコネクターの開発を強化している。同社は先頃、東京ビッグサイトで開催された「COMNEXT 次世代通信技術&ソリューション展」で、開発中の高速伝送対応コネクターを多数展示・紹介し、来場者の関心を集めた。

加速する小型・軽量・高密度化に貢献

COMNEXTでは、「5G・6G通信技術エリア」に出展し、「5G」、さらにその先の「6G」時代の光通信機器への採用を視野に入れ、高速伝送に対応した製品を主軸に、多彩なコネクターを紹介した。

主な出品製品では、開発中の製品として24ギガbps（PAM4）差動伝送ケーブル用コネクター「HSPシリーズ」を初出品した。適合ケーブルAWG30（Twinaxケーブル）、信号は8ペア、差動インピーダンス100Ω。

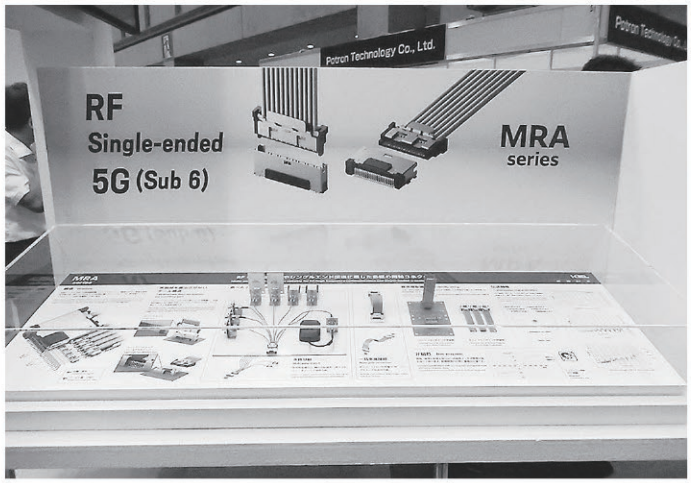
フローティングコネクターでは、開発中のPCIe5・0相当の信号速度に対応するフローティングコネクター「JBシリーズ」を展示した。信号用端子ピッチ0・5ミリメートルで、伝送特性はPCIe5・0相当の信号を想定。信号用端子は240極、電源用端子は8極。接続形態はスタック接続。フローティング量はXY方向プラマイ1・2ミリメートルの可動が可能。電源用端子は1端子につき10Aを予定。使用温度範囲はプラマイ40～プラス125度（通電による温度上昇含む）。

このほか、高速伝送56ギガbps（NRZ）低背フローティングコネクター「HFシリーズ」、高速伝送32ギガbps（NRZ）同軸ケーブル用コネクター「TSLシリーズ」、スタック高さ3ミリメートル高耐熱フローティングコネクター「DUSシリーズ」、シングルエンドRF通信同軸多極コネクター「MRAシリーズ」、PCIe Gen4 CEMスペック準拠56ギガbps（NRZ）「HRシリーズ」、電源端子付きフローティングコネクター「DT－Eシリーズ」など多彩な製品を紹介した。

ラックビジネスのノウハウを生かしたEMC対策用の「EMCキャビネット」も紹介。熱対策用の「ヒートパイプソリューション」の技術展示も行った。装置内部の放熱対策として提案する。

同社は、産業用コネクターを中心とした電子部品メーカーで、ハーネスやラックなども展開する。

車載市場で培った「信頼性」「耐環境性」、画像・通信市場で確立した「高速伝送技術」などを活用し、電子機器の加速する小型・軽量・高密度化に貢献できる製品を充実させている。



COMNEXTで展示した高速伝送対応製品